

再 評 価 調 査

I 事業概要					
事業名	河川事業				
地区名	二級河川 拾石川水系				
事業箇所	幸田町				
事業のあらまし	<p>拾石川は、愛知県額田郡幸田町の三ヶ根山に発し三河港に注ぐ、流路延長約 6.7km、流域面積 11.4km² の二級河川である。</p> <p>全長の内、当該区間（下流区間：5k100（大久保橋）～5k800（大坪橋）及び上流区間：6k200～6k600 約 1,100m）以外は、改修済みとなっている。当該区間は、断面狭小で線形が湾曲しており、洪水時には氾濫する危険性が高く、また沿川には住宅があり、洪水時には被害が予想され、平成 20 年 9 月の台風（19・20号）において、上流側の宮前橋で堰上げがおこり 2 軒の浸水及び田畑の浸食被害が生じた。そのため、河積断面を確保するとともに、湾曲部を解消し、治水安全度を高める目的において、平成 23 年度に事業化された。</p> <p>平成 27 年 7 月 14 日には、将来の二級河川拾石川の総合的な保全と利用について定めた「二級河川拾石川 河川整備基本方針」を策定している。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>年超過確率 1/5 の規模の降雨による洪水を安全に流下させることとし、平成 52 年度までに整備を完了させる。</p>				
計画変更の推移		事前評価時（H19）	再評価時（H28）	変動要因の分析	
	事業期間	H19～H52	H19～H52	変更なし	
	事業費（億円）	9.9 億円	9.9 億円	変更なし	
	経費内訳	工事費	4.4 億円	4.4 億円	変更なし
		用補費	4.4 億円	4.4 億円	変更なし
	その他	1.1 億円	1.1 億円	変更なし	
	事業内容	事業延長 L=約 1,100m 河道改修（河床掘削・護岸工・橋梁改築） 用地買収・補償 測量・設計	事業延長 L=約 1,100m 河道改修（河床掘削・護岸工・橋梁改築） 用地買収・補償 測量・設計	変更なし	
II 評価					
① 業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>・当該区間は、断面狭小で線形が湾曲しており、その狭窄部では流下能力が不足している。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>・平成 20 年 9 月の台風（19・20号）において、上流側の宮前橋で堰上げがおこり 2 軒の浸水及び田畑の浸食被害が生じた。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>・平成 23 年から 28 年度にかけ、本川流域に含まれる幸田町の人口は約 5.5%増加（2100 人）、世帯数は 11.0%増加（1413 世帯）している。また、土地利用は宅地が 4.1%増加、農地は 2.6%減少している。このことから、河川への雨水の流出量は、同量程度と推定できる。</p>			
	判定	B	<p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】</p> <p>・浸水の危険性は事業採択時から大きく変化していないと考えられる。</p>		

② 事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34～H52</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td colspan="6">2.3</td> <td colspan="5">1.7</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="6">1.9</td> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 ①</th> <th>実績 ②</th> <th>達成率 (%) ② ÷ ①</th> <th>計画</th> <th>進捗率 (%) ② ÷ ③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長 (km)</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>—</td> <td>1.1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>事業費 (億円)</td> <td>2.3</td> <td>1.9</td> <td>82.6</td> <td>9.9</td> <td>19.2</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>—</td> <td>4.4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>2.0</td> <td>1.6</td> <td>80.0</td> <td>4.4</td> <td>36.4</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>100</td> <td>1.1</td> <td>27.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地の一部を先行予算で実施しており、面積ベースの用地取得率は約78%</p> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上下流で必要な用地取得を進め、必要な用地の約8割弱（約2,280m²）を取得した。 											内容	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H52	調査・設計	←	→						←	→				用地補償		←											工事												←	計画	2.3						1.7					6.3	実績	1.9													これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 ①	実績 ②	達成率 (%) ② ÷ ①	計画	進捗率 (%) ② ÷ ③	延長 (km)	0.0	0.0	—	1.1	—	事業費 (億円)	2.3	1.9	82.6	9.9	19.2	工事費	0.0	0.0	—	4.4	—	用補費	2.0	1.6	80.0	4.4	36.4	その他	0.3	0.3	100	1.1	27.3
	内容	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34～H52																																																																																																																						
	調査・設計	←	→						←	→																																																																																																																									
	用地補償		←																																																																																																																																
	工事												←																																																																																																																						
	計画	2.3						1.7					6.3																																																																																																																						
	実績	1.9																																																																																																																																	
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																														
		計画 ①	実績 ②	達成率 (%) ② ÷ ①	計画	進捗率 (%) ② ÷ ③																																																																																																																													
	延長 (km)	0.0	0.0	—	1.1	—																																																																																																																													
事業費 (億円)	2.3	1.9	82.6	9.9	19.2																																																																																																																														
工事費	0.0	0.0	—	4.4	—																																																																																																																														
用補費	2.0	1.6	80.0	4.4	36.4																																																																																																																														
その他	0.3	0.3	100	1.1	27.3																																																																																																																														
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> 一部、用地交渉が難航している案件を抱えている。 																																																																																																																																		
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> (今後) 特になし <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に上流区間の用地買収を完了し、平成30年度から下流区間の測量・設計・用地買収及び補償を実施する。 																																																																																																																																		
判定	<p>B</p> <p>A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B: 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今も用地交渉は継続しており、用地問題は解決する見込みであり、計画通りの完成が見込まれるため。 																																																																																																																																		
III 対応方針																																																																																																																																			
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。																																																																																																																																		
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																																																																																																			

■対象（事業完了後 5年目） □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

- ・本事業は、想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後5年以内に想定規模と同等の降雨が発生した場合に、その効果を検証することとする。

【主な評価内容】

